

平成 28 年度 県民の環境活動支援事業

ちば里山カレッジ「第 2 回フォローアップ研修」実施報告書 (2)

特定非営利活動法人ちば里山センター

題 名	ちば里山カレッジ「第 2 回フォローアップ研修」 実習：「竹炭&竹パウダー製造」 講師：NPO 法人竹もりの里 代表理事 鹿嶋與一 フィールド講師 島田年男、水野昭雄 講義：「里山資源を有効活用した里山再生を目指して」「無煙炭化器による竹炭製造について」 講師：NPO 法人竹もりの里 代表理事 鹿嶋與一 講義：「ロープの話、基本の結びの練習」 実習：「野外でのロープワーク実践」 講師：森林インストラクター 山口 熙 アシスタント講師：森林インストラクター米沢理雄
日 時	平成 28 年 9 月 4 日 (日) 9:00~16:30
会 場	千葉県緑化推進拠点施設 研修室&フィールド
出席者	受講生 40 名・主催者 2 名・講師 5 名
内 容	9:00~10:30 実習：「竹炭&竹パウダー製造」 講師：NPO 法人竹もりの里 代表理事 鹿嶋與一 フィールド講師 島田年男、水野昭雄 10:40~12:00 講義：「里山資源を有効活用した里山再生を目指して」 「無煙炭化器による竹炭製造について」 講師：NPO 法人竹もりの里 代表理事 鹿嶋與一 13:00~17:00 講義：「ロープの話、基本の結びの練習」実習：「野外でのロープワーク実践」 講師：森林インストラクター 山口 熙 アシスタント講師：森林インストラクター 米沢理雄
報 告	<p>【竹炭&竹パウダー製造】実習と講義</p> <p>・NPO 法人竹もりの里鹿嶋理事長と 2 名の会員による無煙炭化器による竹炭と樹木用粉碎機による竹パウダー製造の実演と講義が行われた。竹もりの里の取り組みが荒廃した竹林の整備から始まった。タケノコ狩りとタケノコの直売によって活動資金を得た上で、竹材の活用方法として竹炭の活用、竹パウダー、竹チップが活用されている事例が紹介された。</p> <p>竹もりの里のこだわりは、困りものの竹林を整理し、竹材から出る竹炭、竹パウダー等による販売で収益構造の確立を目指す点だろうと思われた。</p> <p>竹炭は近年生物資源から得られる土壌改良剤「バイオ炭」が農作物の収穫量を増やし、土壌や水質汚染を抑制する効果に注目が集まっている点が生産者に受け入れられている理由のようだ。</p> <p>竹パウダー等の農作物に与える影響は検証が始まったばかりだが、竹炭製造については軽トラック一台で運搬できる簡易な構造のため、野焼き、炭窯による生産に比べ製造コストを抑えられる点で優位に立っている点が注目されている。長生郡市の竹林は 50 人程度の組織があれば解決するという鹿嶋理事長の言葉が耳に残った。</p> <p>【里山活動に役立つロープワーク】講義&実習</p> <p>・ロープの材質、構造、破断強度と安全使用荷重について講義を受け、使用頻度、使用状況について学んだ後、ロープワークを実習した。止め結び、本結び、ひと重結び、8 の字結びと進み、もやい結びあたりから受講生からため息が漏れ始めた。トラック結びでは持ち直したようだった。フィールドではブランコ作りのあぶみしばり、トラック結びなどを実演した。ダイナミックロープとスタティックロープを使いロープの伸びの実験を行った。一度では覚えられないロープワークは練習が肝心と受講生が口々につぶやいていたのが印象的だった。</p>

添付資料（写真）



竹もりの里 講師の皆さん



鹿嶋與一講師



竹の投入始まる



竹炭造り始まる



竹パウダー製造機



青竹の投入



講義中



製造機の Cutter も拝見



ロープワークの実演



下から持ってきて輪に通す



ブランコに最適の結び方は



ロープの伸び実験